

大学図書館の脚本の所蔵調査ご協力をお願い

大学図書館 関係各位

謹 啓

ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

この度、平成 30 年度文化庁の委託調査研究事業「文化関係資料アーカイブ構築の調査研究」の一環として、大学図書館等が所蔵する脚本（図書として出版されたものを除く）の実態調査を行わせて頂くことになりました。

本事業は、一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムが主体となる「脚本アーカイブズ活動」として行っております。「脚本アーカイブズ活動」とは、散逸の危機にある放送番組の脚本（※注）を収集し、国立国会図書館等に寄贈し公開する活動です。平成 23 年 5 月 18 日、国立国会図書館と文化庁との間に結ばれた協定に基づき、次世代に継承すべき文化的資料の保存を目的として、継続的に活動を実施してまいりました。

過去の調査では、全国の公共図書館、文学館等に 1 万冊以上の脚本が地域資料として所蔵されていることがわかりました。今回は大学図書館等を対象に所蔵調査を行い、現存状況を把握させて頂きたいと存じます。

この調査をもとに、全国に分散保存されている脚本の所蔵状況を明らかにし、将来的には統合検索システム等を作成し、過去の貴重な資料をデジタル化保存するなどの活用につなげていきたいと考えております。

アンケート結果は、2019 年 3 月末に発行される文化庁への報告書「平成 30 年度版」に掲載するほか、来年 3 月に開催予定の文化庁、国立国会図書館との共催によるシンポジウムにて、ご報告させていただきます。

お手数をおかけして恐縮ですが、アンケートにご協力頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。尚、このアンケート以外に、追加の作業等のご負担はおかけいたしません。

大変お忙しいところ誠に恐れ入りますが、別紙アンケートをご記入の上、FAX・メールもしくはホームページの入力フォームにてご回答を頂ければ幸いです。

今回のご依頼は、国公私立大学図書館協力委員会、日本図書館協会等に御協力いただき、お送りいたしました。

敬 白

平成 30 年 12 月

一般社団法人

日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム

代表理事 池端 俊策



※注：放送番組の脚本とは、実際に放送番組を制作する時に使用される「脚本および進行台本」。

出版物である図書と異なり、スタッフへの配布用に 100 冊程度しか作成されず、国会図書館の納本対象になっていません。また長期保存を想定していないことから紙質が悪く、ガリ版印刷なども含まれており保存が難しい資料です。

特に 1980 年以前のテレビ番組は生放送も多く、ビデオテープが高価だったことから上書き利用され、映像がほとんど残っていません。当時の放送番組を知る手がかりは「脚本」のみであり、貴重な資料となっています。

■脚本アーカイブズ活動で収集し移管された資料 (2018年12月現在)

資料分類	寄贈移管先	冊数
1980年以前の放送脚本	国立国会図書館	27,219
1981年以降の放送脚本	川崎市市民ミュージアム	23,840
演劇・舞台の台本	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	408
映画シナリオ	国立映画アーカイブ	1,195
手稿の脚本	世田谷文学館	91

■NDL デジタルライブラリーで閲覧できる脚本数 : 3,156 冊

(インターネット公開 7 冊、図書館送信 2,983 冊)



■収集した脚本例



※「脚本データベース」<http://db.nkac.or.jp/>にて所蔵先が検索できます

【事務局】〒102-0081

東京都千代田区四番町 4-9 東越伯鷹ビル 5 階 日本放送作家協会内

電話 : 03-5210-7029 FAX : 03-5210-7021

Email : nkac@hosakkyo.jp

Web サイト : <http://www.nkac.jp/>

担当 : 石橋、入山